

G.G.ごうしん 1月号 Vol.69

2018年もよろしく願い申し上げます。

集団回収団体「エコネットみっかび」の取組を紹介します！

「エコネットみっかび」は、三ヶ日町で活躍されている婦人団体です。三ヶ日町婦人会の頃から牛乳パックの回収をされており、その後、婦人会の解散に伴い有志により「エコネットみっかび」が組織され、現在ミックス紙（雑がみ・シュレッター紙・紙パック等その他紙類）の回収を積極的に行っています。

平成 28 年度は **80,760kg** の回収実績がありました。今回は12月7日（木）に実施された資源物集団回収の場にお邪魔し、取材をさせていただきました。

～回収の様子～

利用者の方が車で持ち込んだものを運び出し、計量機で古紙の重さを量ります。



古紙5kgごとに、トイレットペーパー1ロールまたは「まーくんの資源回収箱」1枚のどちらかと交換することができます。5kgに満たない端数がある場合は、繰越表が渡され、これを次回の際に持参すると繰越することができる仕組みになっていました。



チラシなどはそれだけでまとめて、ひもで縛って出すこともできますが「まーくんの資源回収箱」を利用することで、小さいものやあまり見られたくないものも気軽に出すことができます。

以前は上質紙のみの回収でしたが、「まーくんの資源回収箱」になってからは回収できる古紙の種類が増えたそうです。

活動を行うなかで…

活動をするにあたり、女性の手で重い古紙を運ぶのは大変だけれど、集団回収を行うことで利用者の方に喜んでもらえていることや、エコに貢献しているという実感がもてるのが活動をしていて良かったと感じると話されていました。

また、エコネットみっかびは地域とのつながりを大切にされていて、毎年三ヶ日地域の人を対象に工場見学や観光を兼ねたバス旅行を主催したり、成人式等の地域のイベントにお手伝いとして参加したりしています。そうした地域の方とのつながりから、集団回収をしている際に差し入れをいただくこともあるそうで、地域コミュニティの場として、非常に明るい現場でした！

利用者の方には、洗剤の使用量が抑えられる手作りのアクリルたわしの配布もされていました！



市ではごみ減量・資源化の推進のため、自治会、子供会、学校PTA などの団体の皆さんが行う資源物集団回収の実績に応じて協力金を交付しています。

協力金に関する詳細はごみ減量推進課（453-6192）までお問合せください。

小学4年生ごみ減量チャレンジ結果について

夏休み期間中、希望する小学4年生の皆さんに「ごみ減量チャレンジ」と題して、家庭での水切りや雑がみ分別に挑戦してもらいました。4,599名の児童の参加があり、生ごみの水切りでは、1,125,681g（1,126kg）、雑がみの分別回収では5,823,530g（5,824kg）のごみ減量を達成することができました。

やamaiか！水切りプレス

生ごみの約80%は水分です。水切りプレスを使うと、1家族1回（1食分）あたりおよそ15gの減量効果があります。チャレンジでは2週間生ごみの水切りに挑戦してもらいました！



雑がみ分別袋

もえるごみの中にはリサイクルできる「雑がみ」が混ざっています。チャレンジでは紙袋を用意して夏休みの期間中に「雑がみ」がどれくらい集まるか挑戦してもらいました！



多くの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。
これを機会に継続してごみ減量への取り組みをお願いします。



平成28年度の減量計画書等の集計結果について報告します！

市では「浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例」に基づき、大規模建築物所有事業者の皆様へ減量・資源化・適正処理計画書（以後、「減量等計画書」という。）を提出いただいております。今回は平成28年度の減量等計画書の集計結果をご報告します。

平成27年度に比べ

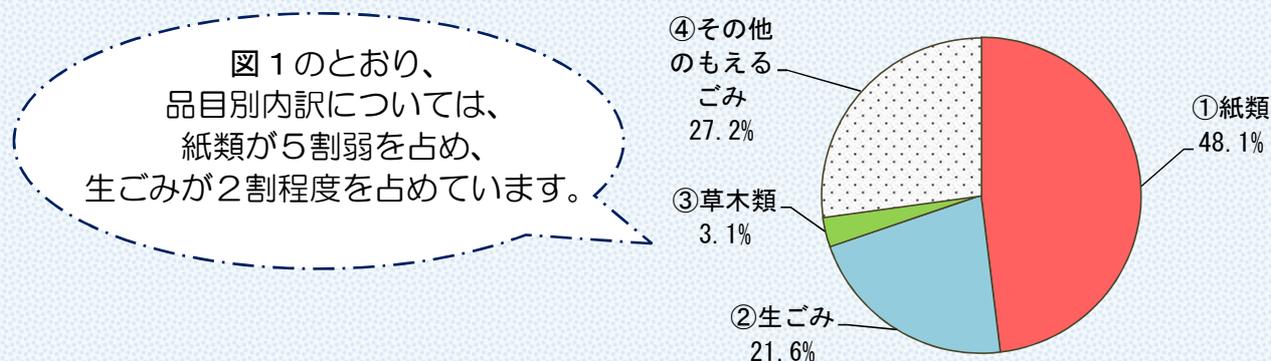
事業系一般廃棄物全体の発生量が増加し、資源化量が減少

平成28年度の本事業の対象事業者数は、市内で354件ありました。そのうち、316件の事業者から、減量等計画書の提出をいただきました。平成27年度と比較すると、提出件数は12件増加しました。

発生量等の推移は図1のとおりです。発生量は、提出事業所数が増えたことなどにより、平成27年度と比べて657.6t増加しました。その一方で、資源化量は、212.9t減少しました。発生量が増加し、資源化量が減少したことで、資源化率も1.9%減少しました（表1参照）。

	28年度(A)	27年度(B)	増減(A-B)
【表1】減量等計画書の提出件数と事業系一般廃棄物の発生量等の推移			
計画書提出件数	316件	304件	12件
発生量	30,000.5t	29,342.9t	657.6t
資源化量	16,197.4t	16,410.3t	△212.9t
資源化率	54.00%	55.90%	△1.9%

【図1】事業系一般廃棄物の品目別内訳



★事業系一般廃棄物の更なる適正処理と減量・資源化に努めましょう

集計結果を踏まえ、事業者の皆様には、以下のことについてご協力をお願いいたします。

紙類

古紙は、排出量をより少なくしていただくとともに、再生利用可能な古紙はもえるごみではなく、資源回収業者に持ち込むなどして、分別・資源化を進めましょう。

生ごみ

生ごみの水切りをして減量に努めましょう(GGつうしんVol.52参照)。

その他のもえるごみ

発泡スチロールやPPバンド、ビニール類等の産業廃棄物が混入していることがあります。適切な分別を心がけましょう。

☆集計結果の詳細は浜松市ホームページに掲載しています。

[浜松市HP](#) > [くらし・手続き](#) > [ごみ・リサイクル](#) > [事業者の皆さんへ](#) > [大規模建築物所有事業者の皆様へ（事業系廃棄物）](#)

3R説明会 開催してみませんか？



市では、家庭から排出される「生ごみ」と「紙ごみ」の減量推進を啓発するため、3R説明会を開催しています。説明会では、浜松市の家庭系ごみの処理状況や費用、ごみ減量が必要な理由やごみ減量のポイントなどを分かりやすく説明します。今年度はこれまで（H29.12月末現在）に51の自治会や会社等延べ1,999人の方にご参加いただきました。

自治会などの会議の始まる前や終わった後の15分程度の短い時間から、1時間程度の講座まで対応しております。

地域によってごみに関する問題は様々なため、できるだけ自治会や会社の希望に沿った話ができるように心掛けています。

お気軽にごみ減量推進課（453-6192）までお問い合わせください！



～説明会での質疑応答～

Q1. 「雑がみ」はどこで回収していますか？

A1. 「雑がみ」は「雑誌」と同じ分類ですので、「雑誌・雑がみ」の回収を行っている地域の資源物集団回収または公共・民間の資源物回収拠点で排出できます。

詳細はこちら [くらし・手続き > ごみ・リサイクル > リサイクル > 雑がみのリサイクル](#)



雑がみは紙袋や封筒を使って集めると便利です！

Q2. みどりのリサイクルの詳細について教えてください。解体したタンスは対象になりますか？

A2. 家庭から排出されるものを対象とし、事業活動（農業など）で排出されるものは対象外になります。排出できる草木の大きさは、長さ1m、太さ直径15cmまでのものです。また、みどりのリサイクルは草木をチップ化し肥料等で利用するため解体したタンスなど加工した木材は対象としていません。

詳細はこちら [くらし・手続き > ごみ・リサイクル > リサイクル > みどりのリサイクル](#)

Q3. 使用済小型家電の回収ボックスはどこにありますか？

A3. 区役所や協働センター等に設置してあります。



詳細はこちら [くらし・手続き > ごみ・リサイクル > リサイクル > 使用済小型家電の回収](#)

■平成29年11月分の家庭系もえるごみ速報値をお知らせします

家庭系もえるごみ 10,924トン（前年同月比48トン減）

平成29年4月からの1人1日当たり平均 485グラム **新目標431グラム!**



（単位：トン）

■家庭系もえるごみ月別推移

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
平成29年度	11,033	12,893	11,931	11,911	12,387	11,289	11,811	10,924	94,179
平成28年度	11,669	12,846	11,426	11,749	12,191	11,487	11,435	10,972	93,775
前年度比	△ 636	47	505	162	196	△ 198	376	△ 48	404